

プレスリリース

2025/7/2

SpectraLayers 12: オーディオ編集の新境地へ

先端技術が結集したスペクトラルエディターの最新世代が登場。

SpectraLayers 12 は技術と創造性の限界を広げ、オーディオ編集にさらなる革新をもたらします。



ドイツ、ハンブルク — Steinberg はスペクトラルオーディオ編集ソフトウェア、SpectraLayers 12 をリリースしました。これまでよりさらに強力かつ直感的になり、精度と音質も向上した SpectraLayers 12 は、音楽からポストプロダクション、整音、サウンドデザイン、マスタリング、さらに音響捜査までさまざまな分野で活用できます。Version 12 は特にミックスの分離や声の処理において、飛躍的な進歩をもたらす数々の機能を搭載しています。

新しいミックス分離モジュール

SpectraLayers 12 が搭載する 2 つの新しいモジュールは、ミックス分離工程の精度と柔軟性をさらに高めます。サウンドトラック分離モジュールは、オーディオを台詞 / 音楽 / 効果音のレイヤーに分離し、映画のサウンドトラックやトレイラー、ラジオ放送のミックスコンテンツなど、ポストプロダクションのワークフローに有効です。核となるオーディオコンポーネントを分離することで、台詞の整音や音楽の差し替え、効果音の強調などをより正確に行えます。また、ユーザー定義の楽器を分離できるモジュールも新搭載されました。モジュールダイアログ上でターゲットとなる楽器を最大 10 秒間登録でき、最適な結果を得るための感度調整も可能です。ミックスから特定の要素を抜き出せることで、アレンジ変更や処理、リミックスのためのステム作成、レストレーションなどの自由度が向上します。

ミックス分離機能の拡張

楽曲、ドラム、そしてノイズを含む声の分離処理能力も飛躍的に向上しました。楽曲の分離ではボーカル、ドラム、ベース、サクソフーン/ブラスの分離が大幅に、そしてギターやピアノの分離も少し改良されたことで、これまで以上にクリーンなステムを得ることができ、手動補正に費やす時間も短縮できます。楽曲分離ダイアログにはサクソフーン/ブラスをボーカルの前に分離するモードが追加され、既存のモードと併せて結果の良い方を選べます。

ボイス処理の刷新

SpectraLayers 12 はこれまで以上の精度で人間の声を処理し、ボーカルでもスピーチでも高い処理結果を得ることができます。ボイス強調モジュールは生成 AI を用いてクオリティの低い声の録音をいわば再構成することができます。話者固有の特徴を維持したまま、クリアで自然、かつ聞き取り易い声が得られます。破裂音除去モジュールは声の破裂音を取り除き、自動処理の他、スレッシュホールド / 周波数 / 減衰比の微調整も可能です。ノイズ除去モジュールは、背景音がノイズであっても音楽であっても非常にクリーンな声を得られるように改良され、また書き起こしモジュールは、精度、対応言語共に二倍になりました。

複数レイヤーの同時作業

SpectraLayers 12 の強力な処理機能は、多くのワークフロー改善によってさらに素早く、直感的に用いることができます。その筆頭は、選択した複数のレイヤーに対して、ツールや処理を同時に実行できるようになったことです。スタンドアロンモードではレイヤーを垂直にまたいで処理を行え、複数のステムに分散しているイベントを一度に編集することができます。一方 Cubase や Nuendo の ARA モードでは処理対象を水平に広げ、たとえばポスト作業において SpectraLayers のボイス処理ツールをプロジェクト上に配置された複数のクリップに適用することができます。

選択ツールの改良

周波数帯域 / ハーモニクス / トランジェントの選択機能も、すべて大きく向上しました。狭い帯域の追跡精度が上がり、選択範囲が伸縮自在になったこと、パラメーターの微調整なしで目的の倍音列を捉えられるようになったこと、より正確かつ柔軟にトランジェントを選択可能になったことなどにより、クリーンでフォーカスされた選択が可能になり、微調整に費やす労力やストレスを削減できます。

その他のワークフロー改良:

- 一括処理: カスタムネーミングに対応しフォルダーやファイル名を自由に定義可能
- 位相回転: 非対称の波形を補正することで最大限に増幅可能
- 範囲選択: スペクトログラフ上で直接ドラッグすることで範囲やサイズを変更可能
- ボリュームエンベロープ: インプレイスレンダリング可能になり、処理後は自動削除
- VST 3 エフェクト: 複数のエフェクトの GUI を表示可能
- 履歴パネル: 一つのツールによる連続操作をユーザー定義の時間単位で統合
- ツール / モジュールプリセット: フォルダーにプリセットを保存し他の環境に転送可能
- WoA: Arm64 環境でネイティブ動作 (Steinberg Activation Manager の Arm 版 が必要)

ユーザーインターフェースの改良:

- 処理時間計測: モジュール適用時の計測頻度を上げ、より正確に残り時間を把握
- ボリュームエンベロープ: DAW の慣習に表示を合わせ、ズームレベルに関わらず一貫した外観で表示
- 周波数帯域のフェード: 計測単位をヘルツの代わりにオクターブで表示
- ARA クリップのグループ化: DAW の任意の選択トラックにおいて ARA が有効化されたすべてのクリップをレイヤーまたはプロジェクトタブで表示
- 検索フィルター: キーワードでツールのカテゴリーやプリセットを絞り込み検索
- カット / コピー: プロジェクト上の任意のレイヤーをターゲット指定可能、マルチレイヤーの編集を高速化

Luis Dongo (Marketing Manager of Pro Audio):

SpectraLayers が最初にミックス分離アルゴリズムを搭載して以来、これに匹敵するクオリティで処理できるアプリケーションは他にありません。Version 12 では、ステム分離の明瞭度は格段に向上しました。分離結果を聴けば、それはミックスの一部ではなく最初から独立していたと信じられるようなレベルになっています。また SpectraLayers 12 ではポストプロダクション業界のニーズに焦点を当て、サウンドトラックの分離やスピーチの強調などの革新的な機能を追加しました。既存のボイス処理アルゴリズムは新世代になってさらに磨きがかかり、ユーザーからのリクエストによるワークフローや生産性の向上も盛り込まれています。

販売方法と価格

SpectraLayers Pro 12 と SpectraLayers Elements 12 は全国の Steinberg 取扱店ならびに Steinberg Online Shop から販売します。フルバージョンの他、SpectraLayers Pro ではアカデミック版、他社製品からのクロスグレード版をご用意しています。価格はオープンプライスです。Steinberg Online Shop ではこれらに加え、旧バージョンからのアップデート、SpectraLayers Elements や SpectraLayers Go (Cubase Pro/Artist 14 や Pro Tools に付属) から SpectraLayers Pro へのアップグレード版も販売します。SpectraLayers Pro

11、SpectraLayers Elements 11 やそれ以前のバージョンを 2025/5/29 以降にアクティベートした方には、無償にて SpectraLayers 12 アップデートを提供いたします。

新機能概要

- サウンドトラック分離 / 楽器分離モジュール
- 楽曲 / ドラムス / ノイズ分離の改良
- ボイス強調 / 破裂音除去モジュール
- ボイスノイズ削除 / 書き起こしモジュールの改良
- 複数レイヤーの同時作業
- 周波数帯域 / ハーモニクス / トランジェント選択ツールの改良
- 一括処理でのカスタムネーミング
- スペクトログラフ上での選択範囲の直接移動
- ボリュームエンベロープのインプレイスレンダリング
- VST 3 モジュール / 履歴パネルの改良
- Windows on Arm ネイティブ対応
- その他の処理や UI の改良

リンク

日本語製品ページ: www.steinberg.net/ja/spectralayers

YouTube チャンネル (英語): www.youtube.com/steinberg

Press contact

Stefan Trowbridge

Public Relations Manager

Steinberg Media Technologies GmbH

E-mail: press@steinberg.net

Phone: +49 40 210 35 0

Steinberg Media Technologies GmbH について

Steinberg は音楽制作およびオーディオソフトウェアとハードウェアのソリューションで世界的に知られ、1984 年以來、ミュージシャンや音楽プロデューサー、映画、ポストプロダクション、マルチメディア業界のための革新的な製品開発および販売を続けています。

Steinberg 製品はグラミー賞やオスカー賞に輝くコンポーザーやエンジニア、プロデューサーに広く使用されています。詳しい情報は www.steinberg.net をご覧ください。